

日 時：令和元年 11 月 20 日（水） 18：00～19：50

会 場：建築士会会議室

出 席：

（常任理事兼委員長）芝 京子

（副委員長）山成 芳直

（委 員）伊藤 誠一、木村 弘一、玉野 直美、長瀬 光市、沼田 有二、畠 宏好、平井 毅、
村島 正章、八重野みどり

オブザーバー：長田副会長、宮林専務理事

<確認事項>

1 前回(11/1)議事録の確認 【資料1】

- ・異議なく承認

<協議・報告事項>

1 令和2年度建築士会予算の編成について【資料2】

- ・専務から予算編成に係る会長方針案を説明。賛助会員社の社員の士会行事参加については、会費口数に応じ会員価格を適用する項の追加のほかは、ほぼ前年どおり。なお、委員会再編との関連では、再編実施時期が流動的なため、現行委員会体制で予算を編成することになる旨を補足。特に異議なし。

2 シニア会員割引制度（仮称）について【資料3】

- ・専務から理事会報告案を説明。

（質疑）

（委員）・「割引対象の基準」に「一般参加者に対して会員参加者の料金を割引くもの」との記述があるが、会員・非会員で同一の参加費を求めるものではシニア割引を行わないという意味か。少々わかりにくい。

（専務）・会員割引を行わないのに、シニアだけ安くするのは不公平感を生じる。会員割引が行われるならば、その割引率を大きくするという運用イメージだ。

（委員）（委員）・価格設定は、会員価格が基本であり、非会員は割り増しするという原則に代えた方がよいと思う。その意味で、非会員も同一価格の参加費があり得ることを前提にした基準の記述は削除し、「任意に適用」と単純に記述してはどうか。

（専務）・提案の趣旨に沿って修正する。

3 「建築士の集い（活動交流会）」の開催方法について【資料4】

- ・専務から理事会報告案を説明。

（質疑）

（委員）・実行スケジュールのイメージだが、単年度単位で、タネになる事業の発掘・企画→それらの関係者を糾合した実行委員会の形成→交流会事業の内容決定→準備と実行、というサイクルを完結させるのは難しい。2か年度にわたると想定した方が現実的では？

（委員）・立ち上がりの期間が重要であり、それがうまくまとまれば一気に実行に走れるだろう。その意味で年内完結にはこだわらないほうがよさそうだ。

（委員）・支部や委員会の意向を、未成熟な段階で収集・把握するのは、かなり大変そうな気がする。

（委員）・身内の参加者だけのイベントでは、懇親会で盛り上がっても、外に向けて打ち出す効果が薄い。

（委員）・逆に「対外的なPRになる」という要素が意識されれば、担当する部隊の活性化につながると思う。

（副委員長）・「何のために交流会を行うのか」という原点は、再確認しておいた方が良さそ

うだ。

(委員)・支部長会議でも同様の意見が出ている。

(専務)・結局単なる飲み会だった、ということにならないための「芯」は必要だ。

(委員)・最初から企画がきれいにまとまっていて、あとは実行の分担を決めるだけといった展開は難しいだろう。情報広報委員会方式ではないが、各支部・委員会派遣委員をできる限りたくさん集め、大勢で揉んでいくうちに企画が形になっていくというのが、現実的なプロセスと思う。

(委員)・実行委員会方式は、いろいろな立場からの参加を募るとはいえ、個人単位での動きになりがちだ。むしろ外部の団体・グループも含めた既存の組織の巻き込みを図り、その代表として委員会に参加してもらう方がうまく回るのではないか。

4 令和元年度「熱闘建築甲子園」の進め方について【資料5】

・専務から、今年度参加者に対する対応案を説明。

(質疑)

(委員)・参加者にお手紙形式でコメントを行うのは適切と思うが、タイトルはやや改まって「講評」とするのも、引き締まって良いと思う。

(委員)・今回の参加も裏では担当の先生の助言があったと聞いている。コメント中に「先生のご指導もあって」といった表現を付け加えれば、先生方も好意的に見てくれるのでは。

(委員)・大学入試選抜の多様化に伴い、こうしたコンペなどの校外活動実績も加点要素になるはずだ。そうした点もアピールしたいところ。

5 来年度以降「熱闘建築甲子園」の実施方法について【資料6】

・専務から来年度以降の実施案を説明。なお、県立高校には「コンソーシアムサポーター」というスタッフが配置され、外部とのコラボ調整にあたりと聞いているので、彼らが動き出す来々2月頃を目途にコンタクトする予定との補足。

(質疑)

(委員)・支部による参加者掘り起しとしては、たとえば地域の校長会へアプローチすることも考えられる。

(委員長)・学校絵画展もそうしたアプローチ。

(委員)・作品提出を「設計製図」のタイトルで求めるのは絞り込み過ぎでは。幅が欲しい。

(委員)・幅があっても良いが、テーマはもう少し絞込まないと取り組みにくい。

・現場見学のためのインターンも取り入れるとの方向だが、座学なしというやり方で、士会側・受け入れ側が対応できるだろうか。

(委員)・インターン先がうまく確保できるかも引き続き課題。

(委員)・ある程度目途がついた時点で「定員」を設定し、その範囲で受け入れるという方法が現実的では？

6 令和2年新春賀詞交歓会について【資料7】

・専務から令和2年の実施案を説明。特に賛助会員のPR機会を強化するアイデアを盛り込み。

(質疑)

(委員)・感境コンペの入賞作品をプロジェクターで紹介するのはいいとしても、受賞者まで呼ぶ必要があるか。

(副委員長)・賛助会のポスター掲示・動画放映は良いアイデア。パンフもバラで配架・配布するより、あらかじめ袋入りにして渡した方が、受け取ってもらえる確率が高く、持ち帰りが減るのでは？

* 賛助会PRの件等については、委員会後、委員から次の提案あり。

- ・ナビオスのプロジェクターは立席パーティーの場合、頭上どの程度見えるか事前確認が必要。
- ・動画の時間は、差が出ない(または金額の多寡で差をつける)ようにするため、事前にある程度指定する必要あり。
- ・流しっぱなしにするのであれば、音声無しなので、説明を画面に活字で入れたらと思う。
- ・会員企業が編集する時間の余裕も見込んで早めに案内したほうが良い。

広告会社が付いているスーパーゼネコンなどの大企業だけでなく、地場のゼネコンや工務店の自前プロモーション動画も見たいです。結婚披露宴で流れる、友人編集の動画のイメージです。建設会社だけでなく設計事務所もPR効果が期待できるのなら、個人会員とは別に賛助会員になって頂けるのではないかと思います。

7 建築士免許交付式について【資料8】

- ・専務から2/23、3/22の2回案を説明。

(質疑)

(委員)・例年どおり青年委員会も頑張りたいが、2回目の3/22は3/28の「フォトログイニング」イベント直前に当たるため注力できそうもないことを留意願う。

8 会員増強に係る建築士試験制度改正への対応について（「準会員」・「お試し会員」など）

【資料9】

- ・専務から対応案を説明。特段の質疑なし。

9 その他

- ・なし

[今後の予定]

令和元年	12月3日(火)	理事会	15:00~17:00
	12月18日(水)	12月総務企画委員会	18:00~20:00
令和2年	1月11日(土)	建築士免許(2級) 休日受付	13:00~15:00
	1月15日(水)	1月総務企画委員会	18:00~20:00
	1月23日(木)	正副・常任理事会	15:00~
	1月28日(火)	令和2年新春賀詞交歓会	18:00~20:00
	2月4日(火)	理事会	15:00~17:00
	2月19日(水)	2月総務企画委員会	18:00~20:00
	2月23日(日)	建築士免許(2級) 交付式	PM
	3月18日(水)	3月総務企画委員会	18:00~20:00
	3月22日(日)	建築士免許交付式(1級・木造)	PM
	5月13日(水)	正副・常任理事会	15:00~17:00
	5月20日(水)	5月(第373回) 理事会	15:00~17:00
	5月28日(木)	令和2年度 通常総会	14:00~16:00
		懇親会	16:00~18:00